



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Gesuido Joho (30 September 2014, Japan)

Page no.: 33

アジア太平洋地域15ヵ国 日本の上下水道学ぶ 〈アジア生産性機構〉

9月1～5日の5日間、日本の上下水道技術を学ぼうと、アジア太平洋地域15ヵ国の政府高官や専門家ら21人で構成された視察団が来日し、東京と神戸を訪れた。国際機関のアジア生産性機構（APO）が招き、（公社）日本下水道協会と（公社）日本水道協会が協力した。

初日は、東京都文京区本郷のAPO事務局で講演会が開かれ、日本下水道協会の松宮洋介・技術研究部国際課長が「日本の汚水管理」について、日本水道協会の富岡透・研修国際部次長が「日本の水道事業」についてそれぞれ講演。八千代エンジニアリング、メタウォーター、JFEエンジニアリング、日立機材および石垣の各社が行った海外展開などに関するプレゼンテーションについては、技術の適用性やコスト面などに関して参加者から多くの質問が挙がり、関心の高さをうかがわせた。

視察団は2日、東京都水道歴史博物館と東京都水道局水運用センターを見学。3～4日は神戸市

内に場所を移し、農業集落排水処理施設と東灘処理場を訪れたほか、神戸国際展示場で開催されていた「国際フロンティア産業メッセ2014」に参加した。最終日に東京で行われた成果報告では帰国後のアクションプランが発表され、活発なディスカッションが行われた。

アジア生産性機構（APO）：1961年に政府間協定の締結により設立された国際機関で、現在20の国・地域が加盟。研修やワークショップ、セミナーなどを通して加盟国の生産性向上を支援し、アジア太平洋地域の持続可能な社会経済の発展に貢献することをミッションとしている。



初日に行われた講演会